

宮崎大学インドネシア同窓会を設置

宮崎大学インドネシア同窓会の設立総会が平成 26 年 10 月 17 日（金）ブラウイジャヤ大学内で開催され、伊丹利明副学長（国際連携担当）、水光正仁農学工学総合研究科長、出口近土工学部教授、明石良農学部教授、インドネシア在住の元本学の留学生 25 名が参加した。本同窓会は、元留学生同士が親睦を深めながら相互のネットワークを強化するとともに、今後の優秀な外国人留学生の受入れにつなげることを目的とする。

この日の同窓会ではまず伊丹副学長より開会の挨拶が行われ、続いて来賓としてご臨席いただいたモハマド・ビシリーブラウイジャヤ大学総長からご挨拶いただいた。初代会長に本学国際連携センター客員准教授のアグス・スハリヤント氏(Dr. Agus Suharyanto) が選出された。アグス氏は「インドネシア同窓会設立を機に、宮崎大学とインドネシアとのますますの関係強化に努力したい」と抱負を述べた。

本会では久しぶりの友人や恩師との再会に話もはずみ、終始友好ムードに包まれ、盛会裏に終了した。

さらに、翌日（10 月 18 日）スラバヤ市で開催された日本留学フェアにも多くの同窓生が自主的に参加し、宮崎大学の概要説明等、学生の勧誘を支援した。

なお、本同窓会は台湾に続き本学 2 つ目の海外同窓会となり、「世界を視野に 地域から始めよう」のスローガンのもと、優秀な外国人留学生の戦略的受入れを図りながら、大学と各国のサテライトオフィス及び同窓会組織を有機的に連動させ、宮崎大学グローバルキャンパスを実現していくこととしている。



（前列左 2 番目から明石良教授、アグス・スハリヤント同窓会会長、伊丹利明副学長、モハマド・ビシリー総長、水光正仁農学工学総合研究科長、出口近土教授）